

taxi japan

www.h7.dion.ne.jp/~taxi-jp/

[タクシージャパン]

16.01.25 No.271



論風一陣

資産保持権利の本音と建前の自己矛盾！

巻頭特集

バス・タク・トラの健康起因事故対策に 健康管理＋動態管理のスマ・ロケを発売





1 月15日未明に長野県軽井

沢町の国道18号碓氷バイ

パスで、スキーバス転落事故が
発生。15名が死亡、26名が重軽傷
を負うという大惨事となった。
その後、警察や国土交通省の捜
査、特別監査によりバス会社の
ずさんな管理体制が次々と明ら
かになっている。しかし、今のと
ころ事故の原因を特定するところ
までには至っていない。

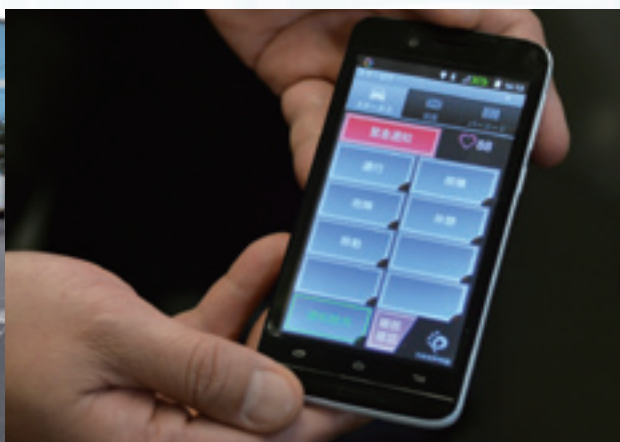
とはいえ、運輸・運送に係る
安全確保は、最優先事項である
ことは論を待たない。国交省の
特別監査で発覚した「死亡した
運転手は健康診断も受けずに入
社し、乗務員台帳も整備されて
いなかった」というこのバス事
業者が今後、運輸関連の事業を
継続していく資格はないのは明
らかだ。

しかし、コンプライアンスを
遵守している事業者であって
も、事故は発生する可能性は否
定できず、出来るだけ減少させ
る努力は怠ってはならない。仮
に今回のスキーバス事故が運転

——株式会社トライプロが開発しま
した、脈拍などの活動量計測に連動
した動態管理クラウドシステムであ
る「スマ・ロケ」を導入されたきつ
かけをお聞かせください。

神田 弊社は日本で一番大きな仮設
材のリース会社（日建リース工業株
式会社）と取引しており、専属の
運送会社だけで合計26社あります。
ちょうど昨年の1～2月あたりに、
立て続けにドライバーさんが亡くな
る事がありました。それは仕事の中
ではありませんでした。その人は具
合悪そうだったので帰らせたとこ
ろ、自宅に帰ってから数時間のうち
に亡くなったそうです。それが2件
も続きました。そこで日建リース工
業株式会社の運搬部部長から「今回
は自宅で亡くなったのは不幸中の幸
いだが、現場で亡くなったたりする
と工事がストップしてしまうし、労基
の問題も発生する。それを抑制する
手立てはないか」という事を聞かれ
て探してみました。

たまたま私はITも携わっている
ので、私の友人でもあるIT会社の
知人に探してもらいました。動態管
理はナビタイムも行っていますが、
コスト的にも高く制約が出てくるの
で、比較的融通が効くようなものを
探したところ、トライプロの高木氏
のスマ・ロケシステムに行きつきま
した。健康管理もリンクさせるには





大な事故を未然に防げた可能性があるという。
 そこで、このスマ・ロケシステムをすでに採用しているキャピタルオ
 ブロジスティクス有責任事業組合（理事長Ⅱ小宮俊光・株式会社あか
 とぎ物流社長）の神田（こうた） 伸敬専務理事に、その導入理由や活用
 方法、効果などをインタビューしてみた。

（聞き手Ⅱ高橋正信）



手の健康起因だったとすれば、
 株式会社トライプロ（高木宏昌
 社長、渋谷区）が開発したウェ
 アラブル端末連動の動態管理シ
 ステム「スマ・ロケ Healthcare」が運転手の健康
 状態をリアルタイムに通知し、
 安全運行を支援していれば、重



どうすべきか、たまたまエプソンの
 パルセンス（脈拍計測機能付き活動
 量計）のコーマーシャルやネット
 でウェアラブル端末をよく目にしたの
 で、これとリンク出来ないかという
 単純な発想で高木氏に相談したとこ
 ろ、エプソンからデータの部分を頂
 ければ可能であるという事でしたの
 で、お願いしました。

——確かに動態管理など、ナビタイ
 ムを使うとすごいでしょうね。

神田 動態管理だけですと、いろん
 な業者がすでに行っています。大手
 でも富士通やNEC、小さい会社も

含め多数あります。しかし健康管理
 とリンクしたものはありませんでし
 た。ではコストを掛けずにやるには
 どうしたらいいか、それは市販され
 ている端末にリンクさせれば簡単だ
 ということです。

——トラック業界のことは存じ上げ
 ないのですが、トラック業界でも突
 然死といった病気は多いものでは
 ないか。

神田 けっこうありますね。

——事業としてユーザーの要望に応
 えるためには、ドライバーの健康管
 理は重要なファクターになりますよ



ね

神田 そうですね。

——このシステムを装着されたドライバさんの反応はどうですか？

神田 正直なところ、嫌がる方もいます（笑）個性で差も出ますね。

——でも会社とドライバさんが、互いに安心・安全を確保するために必要なものだから装着をお願いしている、ということですね。

神田 そうです。

——スマ・ロケはいつごろ導入されましたか。

神田 スタートは昨年8月の後半からですね。26社、122台に導入し

ましたが、一斉にスタートは難しいので1か月くらい余裕を持たせ、全体的に行き渡ったのは10月くらいですね。

——いまは全車に装着しているのですか。

神田 はい、ただ全車ではなく全ドライバに、です。ドライバに専用のスマホを持たせています。実際は個人のスマホでも可能ですが、ソフットの不具合が発生した場合に個人

の携帯を預かる事が出来ないのので、

専用のスマホ（データ通信専用プランのSIMカード装着）を持たせようじゃないかということになりました。これも1万円くらいの格安スマホですが、これを各社の台数分パルセンスと一緒に購入して頂きました。

——さきほどのお話は、事業組合で導入されたということですね。

神田 はい。キャピタルオプロジステイクスというLLP有限責任事業組合です。私は専務理事を務めさせ

ていただいております。

——コスト的にはどうでしょうか？

神田 1台あたり月8千円くらいがランニングコストになります。コスト高に感じられるかもしれませんが、別に払わなければならないかったのですが、ランニングコストに開発費を乗せて、2年契約という形で回収しようという形にしています。本来のランニングコストにパルセンスと連携させるための開発費が入っている、という事です。

——ドライバーさんの動きまで分かるのですね。タクシーの場合は車両に付いているので、乗務員さんが車から離れるとどこにいるか分からなくなります。それは有効じゃないかと思います。

神田 いつもこの装置とスマホを携帯させています。例えばスマホを車に置いていたとしても、約10mは脈拍を感知します。

——乗務をしている間だけ装着させているのですか。

神田 そうです。勤務時間だけに



ります。個人的に睡眠の状態を知りたいという人達には、業務が終わった後でも付けっぱなしで休んでいる人もいます。私もやってみましたが、睡眠が浅いという結果が出ました（笑）スマホ画面にはステータスとして運行・荷積・荷降・休憩・移動の項目があり、色分けして表示されます。これが管理画面の地図上に、装着者の所在地と状態、脈拍数が表示されます。さらにGPSを搭載していますので、1分ごとにステータスが更新されていきます。色の付い

たハートはこの装置を付けている状態で、色が付いていない場合は装着していないか充電が切れている状態です。設定によって、1時間から10時間の一人一人の状態の履歴が分かるようになっていきます。

ドライバーの位置を示す全体地図を表示する画面がありますが、働いている者全員の状態が分かる仕組みです。これにメールと同じ機能があり、画面上に打ち込んだメッセージをすぐにドライバーに送る事が出来ます。しかしドライバーからは運転

中は携帯電話をいじってはいけないルールがありますから、文字ではなく「はい」「いいえ」の簡単な返事だけが送れるようになっていきます。

——今まではこの事業において、働いている人が今どういった状況か、分からなかったのですよね。

神田 それまでは電話で確認するしかありませんでしたが、それが見える化した感じですよ。今現在の状況、何時に帰るのかとかいう連絡をこちらから確認しても、運転中だとそ

れが取れない場面もありました。しかし今はどこにいるか、どういう状況かという事が画面で見えるので、お互いいちいち確認する必要がありません。

——脈拍や運動、睡眠は把握出来るのですか。

神田 データとして残せます。脈拍の上限・下限を設定することが出来て、その設定値を超えると表示のハートマークの色が変わります。

——例えば急に飛び出しがあったという場合、急に脈拍が上がるという事もありますか。

神田 出ますね。導入する時にドライバーから「キレイなお姉さんがいて脈拍が上がったかどうかするんだ」という笑い話もありました。一般の健康体の方でしたら、血圧と脈拍というのは不整脈でない限り連動しています。例えば下が30、上が200で設定しますが、それもステータスで設定変更が可能です。この設定は我々が任意で設定しているもので、このデータを1年間蓄積して、平均値をお医者さんに出してもらいます。また設定値を変えることも出来ます。

——この200という設定値を超えて、色が変わったという事はありませんか。

神田 あります。一瞬上がるなど、何回かありますね。その時は作業中

乗務員の状態をリアルタイムに把握。より安全な「動態管理」を実現します。

乗務員が勤務中に起こる急な急死の数は減少傾向にあるにもかかわらず、乗務員の健康状態に起因する事故は約10倍に増加しています。
また定常運転時における急死率は1%以上全乗務員42%以上で発生、急死率は約1.3倍と増加傾向にあり、一時的な急死に比べ、定常運転時の急死はより危険な状態にあると考えられます。
「スマ・ロケ Healthcare」は乗務員の急死予防を目的として開発されたシステムです。リアルタイムに動態管理が可能です。
安全・安心が求められる、社会の安全なインフラである、バス・タクシー・トラックの乗務員の健康状態に起因する事故の防止に貢献し、一歩事故予防を促すという目的を達成するためのシステムです。



リーズナブルなコストで、導入可能。

「スマ・ロケ Healthcare」は、クラウドシステムをベースとした乗務員管理システムです。システム導入時に、サーバーやソフトウェアの導入費が不要で、インターネットに接続できるパソコン・スマートフォンがあれば、すぐに運用が可能です。また、スマートフォンを利用しますので、運用業務への負担も軽減、コストも削減できます。

ランニングコストが安い。

「スマ・ロケ Healthcare」専用ブラウザで、スマートフォン・タブレット端末から運用が可能です。また、スマートフォン・タブレット端末の運用コストも抑えられます。また、スマートフォン・タブレット端末の運用コストも抑えられます。

スマートフォンの操作は「ステータス変更」だけ。

スマートフォン・タブレット端末の操作は、ステータス変更（運行、休憩、急病）の3種類です。また、スマートフォン・タブレット端末の操作は、ステータス変更（運行、休憩、急病）の3種類です。



リアルタイムで、乗務員の状況を把握。

専用サーバーによってリアルタイムに活動量情報と、スマートフォン・タブレット端末からリアルタイムに取得された「ステータス」情報を、リアルタイムに管理・運用、運用業務に活用できます。また、スマートフォン・タブレット端末からリアルタイムに取得された「ステータス」情報を、リアルタイムに管理・運用、運用業務に活用できます。

設定値を超えた場合、すばやく通知。

活動量計の活動量や急病の発生が、あらかじめ設定された値を超えた場合、専用サーバーで検知され、専用サーバー・タブレット端末・スマートフォン・タブレット端末にリアルタイムに通知されます。また、専用サーバー・タブレット端末・スマートフォン・タブレット端末にリアルタイムに通知されます。



や真夏の暑い時などでした。11月にまた一人ドライバーさんが現場で亡くなりましたが、心筋梗塞でした。作業が終わって待機している間に、スツと亡くなったようです。しかしその方はその時、たまたま装置を付けていなかったようです。その後9月・10月のデータを見たら、1か月くらい脈拍が上がっている時期があったのです。

傾向があったのですね。

神田 これはタクシー業界でも使えると思います。蓄積したデータをC

SVで出すことが出来ます。タクシーもスマホで予約できるシステムがありますし、それと連動させて動態管理をしていると思います。乗務員個人の動態管理が出来ていないと思います。

人の管理となると別になりますよね。ありがたいですね。

EPSON製腕時計活動量計(脈拍計測機能付) PULSENSE PS-100BL 腕に装着するだけで、リアルタイム活動量通知



PS-100Bシリーズ (ブラック)

PS-100Tシリーズ (ターコイズブルー)

※PULSENSEはセイコーエプソン株式会社の製品です。
※本製品は医療機器ではありません。

問合せ先：株式会社トライプロ

東京都世田谷区代田 6-29-8 Tel : 03-5790-9295

E-mail : info@trypro.co.jp Web : http://www.trypro.co.jp